

【 崎津ワクワクまなび大学 】

<第2回>

●人権講座

日時 5月26日(木)

“心のバリアフリーについて”

村田治療院 村田 静也 氏



《校区ソフトボール大会
校区グラウンド・ゴルフ大会》
6月12日(日)開催しました。



グラウンド・ゴルフ大会 優勝 6区



グラウンド・ゴルフ大会 準優勝 7区



ソフトボール大会 優勝 7区



ソフトボール大会 準優勝 3区

<山の談話室>のご案内



これから山登りをしてみたい! あんな山に登るには! 長年の登山経験を活かしたアドバイスや山登りの楽しみ方等の話をさせていただきます。気軽においでください!

日時 8月18日(木) 14時30分~16時

場所 崎津公民館 学習室

テーマ “登山を楽しむための話”

講師 日本山岳会元会員 角 明男 氏

『 崎津小学校 町たんけん 』

6月6日(月) 崎津小学校2年生の皆さんに
公民館のひみつをいっぱい見つけてもらいました。



●子育てサークルよりお知らせ



8月17日(水)に開催を予定しておりましたが、
「子育てサークル」は、新型コロナウイルスの感染急拡大のため中止です。

ほっとひといき ④8 「社会を明るくする運動」

崎津地区人権・同和教育推進協議会
会長 徳永哲郎(7区)

市立図書館の「2022 夏の人権ギャラリー」に行きました。
テーマは「社会を明るくする運動を知っていますか」です。通称「社明運動」は法務省主催で、第1回は太平洋戦争から5年後の1950(昭和25)年、朝鮮戦争勃発の年。日本全体が混乱の時代でした。

展示では「保護司」が紹介されていました。保護司とは「罪を犯した人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア」で、「罪を犯して保護観察を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのったり、指導をしたりするほか、犯罪を予防するための地域活動にも取り組んでいる人」で、崎津は濱田一郎さんと曾根裕之さんの2名です。

改めて1枚目のパネルを見ると「立ち直るためには地域の力が必要」「生きる力・支える力、再犯をなくせば地域はもっと豊かになる」という言葉がありました。法務省の資料によると、昨年刑法犯で検挙された人の再犯率49.1%は過去最高です。世間の冷たい風に接して更生できなかった人が多いことが想像できます。罪を犯した人が、保護司だけでなくみんなに温かく見守られ支えられるようになれば、誰もが頑張れる地域になると思います。



図書館2階の会場(2022.7.9)

